

PRAEVIDENTIA DAILY (9月1日)

昨日までの世界：ドル上昇

先週金曜は、対円や対ユーロを中心にドルが全般的に堅調な展開だった。米経済指標は、米個人支出・個人所得は各々前月比-0.1%、+0.2%と市場予想を下回った一方、コア PCE デフレーターは前年比+1.5%で市場予想通り、シカゴ PMI (64.3) とミシガン大消費者信頼感確報値 (82.5) はいずれも市場予想を上回るなど、全体としてはまちまちで、米中長期債利回りや米株価に強い方向性を与える内容ではなかった。ドル/円は 104 円台を回復したが、敢えて言えば、本邦全世帯家計調査・消費支出が前年比-5.9%、鉱工業生産も前年比-0.9%といずれも市場予想を大きく下回ったことから、政府・日銀の消費増税後の反動減からの回復シナリオに黄信号がとまり追加緩和期待の高まりに繋がり、円安圧力となった可能性はある（全国コア CPI は前年比+3.3%で市場予想通りだった）。

ユーロ/ドルは、ユーロ圏総合 HICP 前年比が+0.3%と市場予想を下回らず、コア HICP はむしろ+0.9%と市場予想を上回ったことから、今週の ECB 政策理事会における追加緩和実施期待が若干後退しユーロが強含む局面がみられた。もっとも、その後ユーロ/ドルは対その他主要通貨でのドル堅調もあって下落、一時 1.3105 ドルと年初来安値の更新が続いた。ユーロ安の背景として、EU 外相会議の開催と週末の EU 首脳会議を控え、対ロシア追加制裁の可能性が意識され、ロシアルーブルが大幅下落し年初来安値を更新したことも重石となった可能性がある。

カナダドルは、カナダ 2Q GDP が前期比年率+3.1%と市場予想を上回ったことから一時上昇する局面がみられたが、その後の米ドル堅調を受けて反落した。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+0.4	-0.02	-0.01	+0.00	+0.00	+0.01	+0.00	+0.3	-0.2	+1.5	+0.7
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株価
ユーロ/ドル	-0.4	-0.00	-0.01	-0.01	+0.00	+0.01	+0.01	+0.2	+0.3	+0.7	-0.01
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.1	-0.00	-0.01	-0.01	-0.01	-0.00	+0.01	+0.2	+0.3		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	-0.2	+0.00	-0.01	-0.01	-0.04	-0.03	+0.01	+0.3	+1.0	+0.5	
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	-0.3	+0.02	+0.01	-0.01	-0.03	-0.02	+0.01	+0.3	+1.0	+0.5	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	+0.2	-0.01	-0.01	+0.00	+0.01	+0.01	-0.00	+0.3	+1.5	+0.5	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

主要通貨ペアの前週比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化(先週1週間)

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	+0.1	-0.00	-0.00	-0.00	-0.05	-0.06	-0.01	+0.8	-0.7	+2.5	+0.9
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独株価
ユーロ/ドル	-0.8	-0.03	-0.03	-0.00	-0.03	-0.09	-0.06	+2.0	+0.8	+0.9	-0.05
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
豪ドル/米ドル	+0.2	-0.06	-0.06	-0.00	-0.13	-0.19	-0.06	+0.7	+0.8	-1.1	+1.4
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	世界株価	米株価	中国株価	CRB
NZドル/米ドル	-0.6	-0.02	-0.02	-0.00	-0.11	-0.17	-0.06	+0.7	+0.8	-1.1	+1.4
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.2	+0.12	+0.11	-0.00	+0.02	-0.04	-0.06	+0.7	+0.8		
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	世界株価	米株価	原油WTI	CRB
米ドル/加ドル	-0.6	-0.01	-0.00	+0.01	+0.02	-0.06	-0.08	+0.7	+0.8	+2.5	+1.4

(注) 為替相場、株価および商品価格は前週比変化率、金利は前週比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：中国景況改善の息切れで豪ドル高一服

きょうの注目通貨：AUD↓、GBP↓

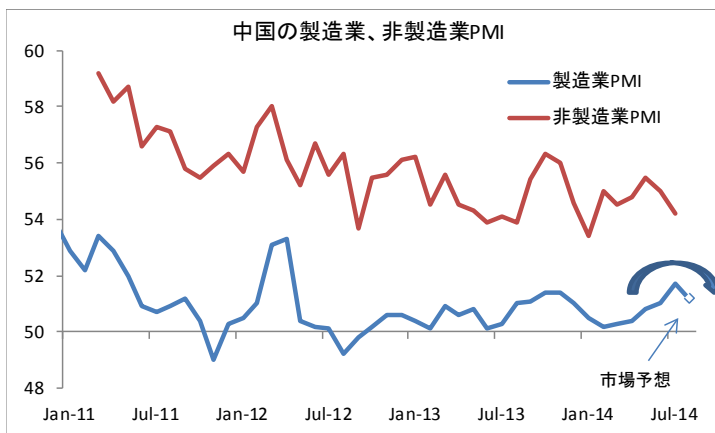
来週の指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
<1日>米、カナダ休場（レイバーデー）				
中国 8 月製造業 PMI	10 : 00	51.7	51.2	
豪 2Q 企業在庫・前期比	10 : 30	-1.7%	+0.3%	
豪 2Q 企業利益・前期比	10 : 30	+3.1%	-2.0%	
中国 8 月 HSBC 製造業 PMI・確報値	10 : 45	51.7	50.3	速報値は 50.3
英 8 月製造業 PMI	17 : 30	55.4	55.0	悪化だと 2 カ月連続

（出所）プレビデンティア・ストラテジー作成

本日は北米休場のため、動きが出るのはアジア・欧州市場に限られよう。注目は中国製造業 PMI で、既に発表された HSBC 製造業 PMI（50.3）が大きく悪化していたことから、公式製造業 PMI の小幅悪化（51.2）はサプライズではないが、HSBC 分と同様に大きな悪化となるようだと、豪ドルや NZ ドルの下押し圧力となろう。

英国では製造業 PMI が注目で、市場予想を上回ると景気回復の一服感から早期利上げ期待の後退を確認し、ポンド売りとなる可能性があり、再び下落基調に入りかけていたユーロ/ポンドの小反発に繋がるリスクがある一方、ポンド/ドルは 1.66 ドル丁度前後で横ばい推移が続いており、まだ方向感が出にくいだろう。

ドル/円は日米材料がない中で、週末の米雇用統計までは 8 月下旬以降の 104 円丁度を挟んだレンジ相場が続きそう。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641